



この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

子どもの権利条例による子どもの参加の取組 子どもの声をまちづくりにつなぐ！

しみサポ☆KIDS☆
さつぽろ子ども記者

「しみサポ」は、「札幌市市民活動サポートセンター」のことで、札幌で活動しているボランティアやNPOの人たちの相談にのったり、勉強会を開いたりするなどのお手伝いをするところです。

「しみサポ」では、大人だけではなく、子どもの活動もあり、今回は、「さつぽろ子ども記者」を取材しました。

「さつぽろ子ども記者」は、市内の小学生が、まちづくり活動をしているNPO団体を取材し、その内容をかべ新聞にまとめて発表するものです。第1回を平成25年1月に行い、これまで第2回(25年7月)、第3回(26年1月)の活動を行いました。今回取材したのは第4回(26年8月)の活動です。

8月7日は、小学3～6年生8名が、2つのグループに分かれて、「NPO法人エゴ・モビリティサッポロ」と「重複聴覚障害者と高齢者つあ者の在宅福祉を考える会」とも」を取材しました。



8日は、前日の取材内容を確認し、グループで話し合いを行い、かべ新聞づくりをして、その内容を発表しました。

参加した小学3年生と6年生の女子は、「取材では、いろいろな人が人の役に立つことに取り組んでいるのを知ることができ楽しかった。かべ新聞づくりは、みんなの意見をまとめるのが大変だけど楽しい。」と話してくれました。

「しみサポ」は、札幌エルプラザ(北区北8条西3丁目)2階にあります。ホームページの中のキッズページでは、これまでの「さつぽろ子ども記者」の発表の様子を動画でみることができます。
<http://www.shimin.sl-plaza.jp/kidspage2/index.html>

「ぼくらの未来を考えよう」委員会

札幌市では、**子どもの権利**を大切にしたり、放課後の居場所づくりをしたり、また、子育てしやすいまちづくりを進めるための計画をつくっています。

この計画は、子どもに関係するとても大切なものなので、多くの子どもたちからも意見を聞きたいと考え、「ぼくらの未来を考えよう」委員会をつくり、参加してくれる子どもを募集しました。

委員会は、小学5年生～高校生まで14名が参加し、平成26年7月29日に札幌市役所で、3つのグループに分かれて行いました。

グループでは、子どもの権利などのテーマについて、「札幌のまちがこうなつてほしい」という「未来」や、未来のために、自分たちができること・大人にしてほしいことについて、意見を言ったり、その内容をまとめて発表したりしました。

発表では、子どもの権利をみんなが大切にするために「**人の悪いところばかり見ないで、良いところを見つめる。**」といった意見や、札幌をもっと子育てしやすいまちにするために、「**小さい子どもと積極的にコミュニケーションをとる。**」また、大人にしてほしいこと、



札幌市では、子どもの声を大切にまちづくりを進めています。ぜひ、みなさんの声も聞かせてください！

「住んでいる地域の中で、その人に合った協力をする。」などの意見がでました。
この委員会での意見も参考にしながら、計画の案をつくっています。

子どもの権利をもっと知ってもらおう！



今年の冬に、より多くの子どもの意見を聞くための資料を学校や児童会館に送る予定ですので、資料をみたら、意見を書いて送ってください。



子どもにとって大切な権利
・安心して生きる
・自分らしく生きる
・豊かに育つ
・参加する

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
〒060-0051
札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階
☎011(211)2942 FAX(211)2943
✉ kodomo.kentri@city.sapporo.jp